

# 学生相談室だより

京都文教大学・京都文教短期大学  
学生相談室

〒611-0041  
京都府宇治市槇島町千足80  
Tel:0774-25-2843  
Fax:0774-25-2944  
HP: http://www.kbu.ac.jp/kbu/

秋学期がはじまりました。  
夏休みはどのように過ごされたでしょうか。  
秋の気配が日々のあちこちで感じられます。  
風がひんやりとしていたり、虫の音が気持ちを穏やかにしてくれたり、  
空を見上げると秋の雲が浮かんでいたり。夜空の月も綺麗な季節です。  
今回は**月**についてお届けします。

今年の中秋の名月は**9月27日**でした。  
さらに今年は、月の地球への軌道が  
再接近となり、いつもより大きく見える  
スーパームーンで、とても綺麗でした。

**陰暦(旧暦)**では7月8月9月が秋。  
陰暦では**月の満ち欠け**で暦が決められ、  
新月のときが1日、満月の頃が15日、  
その後また新月になる日に  
新しい月に切り替わります。  
中秋とは陰暦の秋の真ん中の日  
(8月15)を指す言葉です。

日本で太陽暦が採用されたのは  
1872年(明治5年)。  
それまでは月の満ち欠けに基づく  
**陰暦**で暮らしていました。  
月のリズムと人の生活は密接に関  
連していたんですね。  
地球上のあらゆる生き物は太陽と月  
の恩恵を受けて生きていますが、  
特に月の引力から大きな影響を受け  
ているようです。

昔の人々は満月の夜だけでなく、  
その前後数日間、月を愛でした。

**立待月**…月を立て待つ  
**居待月**…月を座って待つ  
**更待月**…夜が更けるまで待つ

満月の夜から、少しずつ遅れる  
**月の出を心待ちにする**心情を  
表した美しい言葉です。

## 観月

平安貴族は、月を直接見ることをせず、  
池や杯に月を映して月を愛でたそうです。

月は目で見るだけでなく、  
**心で観る**という感覚は、今も多くの人に  
共通すると思います。  
月が雲に隠れていても、雨が降っていても  
そこに月があることを**ほのかに感じる**。  
昔の人はそんな感性を  
持ち合わせていたのでしょう。  
その感覚は私たちの心の奥深いところに  
生き続けているように思います。

## 月のリズム

### 新月の頃

直視力が活発になるといわれています。”始まりの時期  
“ということから、昔から新しいことをはじめるなら新月期  
とも。新月以後、月は満月をめざして充実していくので、  
成功する確率も高くなるとか？

### 上弦(満ちていくとき)

吸収、補給、摂取の時期。身体がいろんなものを蓄え、  
休養により時期。

### 下弦(欠けていくとき)

放出の時期。発刊や解毒作用の形としてあらわれます。  
何かをやめたり誰かと別れたりする場合は、月が欠けて  
いく時期を選ぶと、ダメージを最小限にとどめ、緩やかに  
終わらせることができるとか…。

### 満月の頃

月の引力がもっとも強くなり、外国ではlunaticと表現さ  
れるほど感情が活性化されるといわれています。  
イベントやお祭りといった行事に力を発揮できるかも。

現代はあらゆるところに時計があふれ、  
時間やスケジュールに追われる生活になりがちです。  
**月や自然のリズムを感じるゆとり**を持ちにくくなっている  
かもしれません。

この秋、夜空を見上げて、みなさん自身の中にある  
**自然のリズム**を感じてみてはいかがでしょうか。

